

『中期経営計画 -FY25～FY27-』開示に寄せて

当社グループは、従来、社内目標としての中期経営計画を策定してまいりました。このたび、ステークホルダーの皆様に、今後の我々の目指すべき方向性をより深くご理解いただくため、新たな中期経営計画を策定し、これを開示することといたしました。

過去3年間、原材料、エネルギーコストの上昇・高止まりなどの外部環境の影響を受け、価格改定の推進および生産性の向上や経費削減、注力事業への集中や横ぐし戦略の推進に努めた結果、国内事業においては、改善の傾向にあるものの、海外事業の不振もあり、第105期においても、営業損失を計上する状況となっております。この間、選択と集中の一環として、シューズ事業の国内生産を段階的に終了するなどの決断も行ってまいりましたが、今次中期経営計画においては、さらに選択と集中を徹底するとともに、当社が長年に亘り培ってきた様々なテクノロジーの組み合わせによりマーケットへの深耕を一段と加速し、収益性の改善効果を最大化するため、組織変更を含む計画としております。

1. 長期的に目指す姿

当社グループは、社員一人ひとりの好奇心、多様な能力、ユニークなアイデア、ひらめきを大切にし、様々なテクノロジーを組み合わせたソリューションで社会に貢献してまいります。

世界に、驚き・喜び・感動を提供し、人々の生活を豊かにする『グローバル ソリューション プロバイダー』を目指します。

2030年度には、売上高1,000億円規模、営業利益50億円規模、ROE 7%以上の達成を目指します。

2. 新中期経営計画の概要

新中期経営計画では、2027年度に売上高880億円、営業利益30億円、ROE 5%以上の実現を目指します。

2030年度を目指す姿に向け、マーケット視点でソリューション力に磨きをかけながら、当社グループが保有する様々なテクノロジーをアイデアで掛け合わせ、世界に選ばれる新たな価値を創造してまいります。

また、足元の課題事業の再評価や成長が期待される事業へのリソース投入など事業ポートフォリオ変革の実現に最優先に取り組むとともに、事業成長戦略を支える基盤としての人材力や生産性・技術力等の向上に努めてまいります。

地政学的リスクのさらなる高まりを背景に先行き不透明な経営環境が続くことが予想されますが、新中期経営計画を通じて当社グループの企業価値向上・持続的成長に邁進してまいります。

当社グループは、長年の事業で培ったテクノロジーの多様性に加え、多岐にわたるマーケットでの様々な国内外のお客様とのおつきあいがあり、これは大きな財産であると認識しております。この財産を活かし、本計画を確実に実行してまいります。

代表取締役社長

日景一郎